

特集「子育てするなら山形県」の実現に向けて!



不妊治療費助成

- 助成対象：公的医療保険が適用される不妊治療を受けた方
- 助成金額：1回あたり最大9万円
- 申請方法：お住まいの地域の保健所に申請（山形市の場合は村山保健所）
- （助成イメージ）：保険適用（7割）と自己負担（3割）

出産支援給付金

- 対象世帯：出生後最初に県内市町村に住民登録された新生児がいる世帯
- 給付金額：新生児1名につき、58,000円
- 給付手続：お住まいの市町村を通して給付

ふみだそう
ふたりの
未来へ

やまがたハッピーサポートセンター

詳しくは
こちら▶

QRコード

11月下旬
AIマッチングシステム
新規登録スタート

◆**子育ても仕事も楽しめる**

社会を目指して

子育てしやすい社会をつくるには、各ステージにおける支援のほか、仕事と子育ての両立に向けた支

援も重要です。

赤ちゃんほっと♥ステーション

この登録ステッカーが目印です！

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組
いき☆いきやまがた
放送のご案内

『子育てするなら山形県』の実現に向けてと題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形テレビ（YTS）
●11月5日（土）午後1時～

テレビユー山形（TUY）
●11月13日（日）午後2時30分～

山形放送（YBC）
●11月19日（土）午後0時55分～

さくらんぼテレビ（SAY）
●11月27日（日）午後4時～

放送時間は変更になる場合があります。

やまがた子育て応援サイト

女性も男性も子育てしながら無理なく働くことができる企業の職場環境づくりや、子育ての負担が女性に偏ることがないよう、男性の育児・家事への参画を促進するなど、「子育てするなら山形県」の実現に向けて、取組みを進めています。

やまがた子育て応援サイト

このサイトは、ぜひご覧ください！

▶問い合わせ ◎ しあわせ子育て政策課 ☎023-630-2668

（1）結婚のステージ

やまがたハッピーサポートセンターに
A-マッチングシステムを導入！

新型コロナの影響により、結婚を希望している方の出会いの機会がとても少なくなっています。このたまがたハッピーサポートセンターでは、令和4年11月下旬から、AIがおすすめの相手を紹介する機能を持ち、自宅などから利用できる新たなマッチングシステムを導入します。

センターでは、結婚相談会の開催やボランティア仲人の「やまがた縁結びたい」による支援も行っていますので、興味のある方はぜひセンターのHPをご覧ください。

（2）妊娠・出産のステージ

不妊治療に取り組む夫婦、新生児が生まれた世帯を支援

県では、令和4年度から新たな不妊治療費助成事業を行っています。これまで少なくなっています。このため、県や全市町村などで組織する「やまがたハッピーサポートセンター」では、令和4年11月下旬から、AIがおすすめの相手を紹介する機能を持ち、自宅などから利用できる新たなマッチングシステムを導入します。

センターでは、結婚相談会の開催やボランティア仲人の「やまがた縁結びたい」による支援も行っていますので、興味のある方はぜひセンターのHPをご覧ください。

（3）子育てのステージ

県民総ぐるみで子育てを応援～赤ちゃんほっと♥ステーション～

登録制度を開始

今年度から、県内の商業施設などの協力をいただき、「赤ちゃんほっと♥ステーション」の登録制度をはじめました。これは、赤ちゃんや小さなお子さんを連れたママ・パパが、外出先でも安心して授乳やおむつ替えができるよう、要件を満たす施設を登録・周知する取組みです。

また、令和3年度から、出産に伴う経済的負担を軽減するため、新生児が生まれた世帯に、新生児1名あたり5万8千円を「出産支援給付金」として給付しています。

従来、「特定不妊治療費助成」として定額で助成されていた不妊治療が保険適用となつたことに伴い、新たなマッチングシステムを導入します。

また、令和3年度から、出産に伴う経済的負担を軽減するため、新生児が生まれた世帯に、新生児1名あたり5万8千円を「出産支援給付金」として給付

すごいな！山形わくわく体験モデル事業

保育園や幼稚園を対象に、果物狩りや紅花染めなど、幼少期から地域の魅力・素晴らしさに触れ、体験してもらうモデル事業を実施中です。



※撮影時のマスクをはずしています

ラン」を策定し、市町村や企業、民間団体と一緒にあって、切れ目のない支援に取り組んでいます。

若い世代が将来に希望を持ち、安心して子どもを生み、子育ての楽しさと幸せを感じながら暮らし続けることのできる社会の実現に向けて、これまで支援策を拡充してきました。今年度は、①結婚、②妊娠・出産、③子育てのそれぞれのステージにおけるきめ細かな支援策や、子どもたちの郷土愛の醸成などに取り組んでおり、ここでは、特に力を入れている新たな取組みについて紹介します。



高校生による乳幼児とのふれあい体験の様子

◆**本県の婚姻・出生の現状**

結婚観・家庭観の変化による未婚化・晩婚化や、経済的負担の増大による不安感などを理由とした少子化が止まらない状況です。

加えて、新型コロナの影響により、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍車がかかり、現状を踏まえた対策を講じていく必要があります。

り、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍車がかかり、現状を踏まえた対策を講じていく必要があります。

り、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍車がかかり、現状を踏まえた対策を講じていく必要があります。

り、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍車がかかり、現状を踏まえた対策を講じていく必要があります。

り、出会いや結婚の機会が減少していることや、妊娠や出産を控える傾向がみられたことなどにより、この状況に拍